

平成18年度病害虫発生予報第6号(9月予報)

＜お知らせ＞ 施設野菜の病害虫対策に関する情報があります(11,12頁参照)。

今月のトピックス

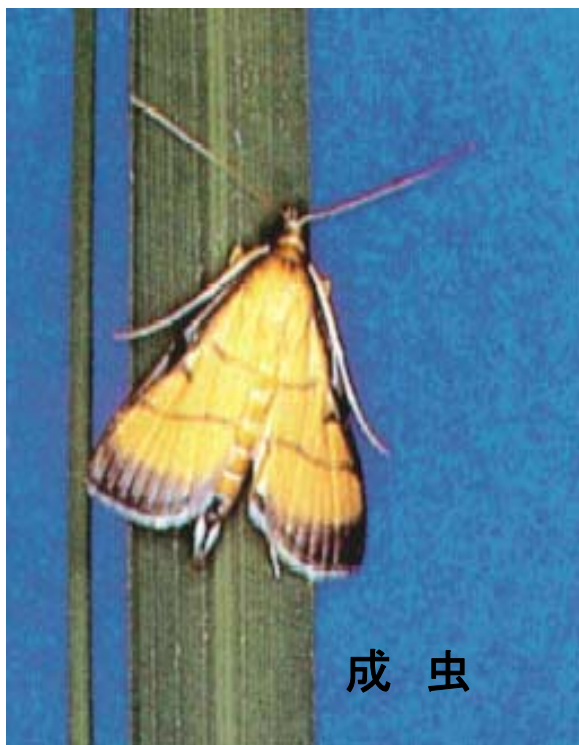
<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

コブノメイガ (水稻)

学名 : *Cnaphalocrocis medinalis*



幼 虫



成 虫

生態と被害

(写真提供: 沖縄県植物防疫協会)

年7回～8回発生し、幼虫態でイネ科雑草で越冬する。沖縄本島では、第1回成虫は3月中旬から4月上旬に現れ、水田における第1世代幼虫が4月中旬～5月上旬頃に発生し、その後世代を重ねるにつれ密度が高まり、9月～10月頃に(第5～6世代幼虫)最も多くなる。幼虫期間は約20日間で、成育した幼虫は17～18mmになる。幼虫は葉を糸でつづり合わせ、表皮を残して食害するため被害の後は白く目立つ。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。